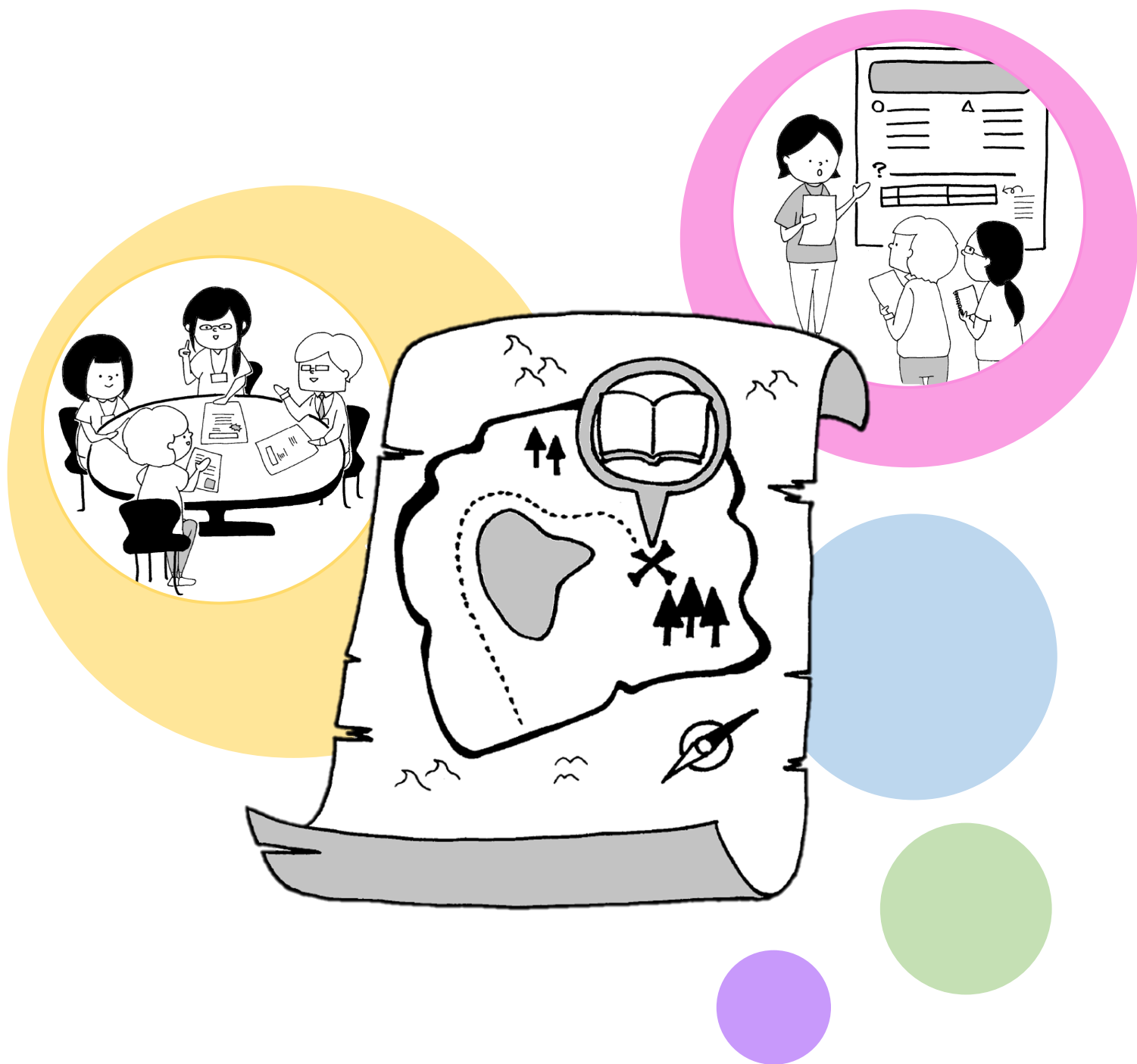


図書館 de 宝探し

知への羅針盤

2017 研修分科会 共同制作



私立大学図書館協会東地区部会 第9期研修分科会

図書館 de 宝探し

知への羅針盤

2017 研修分科会 共同制作

私立大学図書館協会東地区部会 第9期研修分科会 編集・発行

まえがき

本冊子は、私立大学図書館協会東地区部会第9期研修分科会のメンバーが、2017年度の分科会研修の総まとめとして作成したものです。図書館でできる情報収集の方法を紹介するために、5つのテーマを取り上げました。

利用者のみなさんには、図書館での宝探しの地図として使っていただき、図書館員のみなさんには、このパスファインダーをきっかけに、自館の資料へ利用者を導くそれぞれの羅針盤を作っていただければ幸いです。

最後に、6回にわたり取りまとめいただいたIAALの高野様・高橋様および研修分科会事務局幹事校の成城大学図書館新井様・吉田様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

私立大学図書館協会東地区部会 第9期研修分科会一同
(執筆：畔上・尾崎)

目次

I 「アメリカ合衆国の祝日」について（担当：青山・畔上・五十畑）	1
II 「ハロウィン」について（担当：近藤・中井・中西）	7
III 「東京オリンピック」について（担当：尾崎・小保方・柿沼）	13
IV 「宮沢賢治」について（担当：名取・西・松尾）	19
V 社会人になる前に！「ワークライフバランス」について（担当：武藤・山中・吉田）	25

凡例

<図書>

- ・『書名』，著者名，出版社名，出版年，版

<雑誌>

- ・「雑誌名 巻号」，出版社名，出版年月

<Web サイト>

- ・「サイト名」（アクセス年月日）

URL 例) <http://>～

(Web サイト / 運営：サイト運営者名)

「アメリカ合衆国の祝日」について（担当：青山・畔上・五十畑）

はじめに

1. 祝日を調べる
2. 由来・慣習の調べ方
3. 参考情報
4. キーワード

はじめに

日本では「祝日」について、『法律用語辞典』（第4版）では以下のように定義しています。

国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日として、「国民の祝日に関する法律」（昭二三法一七八）二条に定められた日を指す。同法三条により、国民の祝日は休日とされ、また、その日が日曜日に当たるときは、その後の直近の国民の祝日でない日が休日とされている。

この「祝日」と同様の物として、アメリカ合衆国には「legal public holidays（法定休日）」があります。アメリカ合衆国は州ごとに休日や記念日が異なりますが、ここではアメリカ全州において法律（United States Code）で指定された休日である「legal public holidays」についての調べ方をご紹介します。

1. 祝日を調べる

アメリカの祝日も日本の祝日と同様に、曜日で定められ、年度によってその日付が変わるものがある。アメリカ合衆国にどんな祝日があるのかを調べるには、以下の Web サイトや本が活用できる。その年の祝日の日付を調べるには、Web 情報が便利。

- ・「祝祭日（米国）」（アクセス 20171129）

https://www.jetro.go.jp/world/n_america/us/holiday.html

（Web サイト / 運営：日本貿易振興機構 JETRO）

→日本の貿易促進と対日直接投資に関する事業の総合的な実施と、開発途上国地域の総合的な調査研究を通じて、諸外国との貿易拡大および経済協力を促進し、日本の経済・社会のさらなる発展を目指す JETRO の Web サイト。国・地域別に各国の基本情報やビジネス情報が確認できる。年によって日付が変わる祝祭日に関しては、当該年の確定された祝日を示している。

- ・「CELEBRATE! 米国の祝日」（アクセス 20171129）

<https://americancenterjapan.com/aboutusa/monthly-topics/monthly-topics-category/celebrate/>

(Web サイト / 運営：アメリカンセンターJAPAN)

→アメリカ合衆国大使館の広報・文化交流部であるアメリカンセンターJAPANが運営する Web サイト。
各祝日や記念日を紹介している。

・「アメリカの祝日・休日」地球の歩き方 (Web 版) (アクセス 20171129)

<http://www.arukikata.co.jp/country/US/info/holiday.html>

(Web サイト / 運営：ダイヤモンド・ビッグ社)

→旅を楽しむための情報発信サイト。132 カ国の国別基本情報と人気 39 都市の観光地など約 2000 件を超える記事、世界 115 都市の一週間天気予報、イベント情報、為替などの情報が掲載されている。法定祝祭日の他、州によって祝日となる日についても紹介している。

・『地球の歩き方：アメリカ 2017～18』, 「地球の歩き方」編集室, ダイヤモンド・ビッグ社, 2017

→「ジェネラルインフォメーション：祝祭日 (p.9)」に基本情報として記載あり。

・『世界の祝祭日の事典』, 中野展子, 東京堂出版, 2016

→1 年間の諸外国祝祭日や記念日が順に解説されている。巻末に国ごとに祝祭日をまとめた資料もあり。

・『記念日・祝日の事典』, 加藤迪男, 東京堂出版, 2006

→巻末に世界の祝祭日が掲載あり。

2. 由来・慣習の調べ方

アメリカの祝日の由来や慣習（祝日の過ごし方、決まり事など）を調べたい時には、以下の本や Web サイトが便利。

・『アメリカン・ホリデー：その神話と現実』, 大島良行, 東京書籍, 1987

→文化の象徴であり国民性をつくりあげる要素である祝日・祭日に注目し、アメリカ社会を探究する。
以下の祝日・祭日についてアメリカ人に共通の神話・現実などから考察しており、それぞれの起源について確認できる。

「主の日」

「マーチン・ルーサー・キング・デー」

「リンカン誕生日」

「ワシントン誕生日」

「戦没将兵記念日」

「独立記念日」

「労働者休日」

「コロンブス記念日」

「復員軍人記念日」

「感謝祭」

「その他の記念日」

・『世界の祝祭日の事典』, 中野展子, 東京堂出版, 2016

→巻末では以下の項目が確認できる。

「世界各国の祝祭日・記念日」(2016年の日付に即す)

「国際デー」

「世界各国のナショナルデー(国家の日)」

「索引」

アメリカについては、以下の祝日の他、種々の記念日の由来について解説している。

「ワシントン誕生日」

「アメリカ独立記念日」

「勤労感謝の日(レイバー・デイ)」

「コロンブス記念日」

「クリスマス」

・『事典 現代のアメリカ』, 小田隆裕[ほか]編, 大修館書店, 2004

→アメリカの政治・経済・歴史・社会からサブカルチャー・日常生活まで110項目を取り上げられた事典。「77|祝祭日と祝い事 Holidays and Celebrations (p.859-871)」でアメリカの祝祭日成立の由来、祝祭日にまつわる物語やシンボルの役割、風習について解説。参考文献・関連文献の紹介あり。

・『アメリカ文化事典』, 亀井俊介編, 研究社出版, 1999

→アメリカの歴史・思想・宗教・風俗・日常生活について項目ごとに解説している。以下の祝祭日の由来・風習・過ごし方について確認できる。

「感謝祭 (p.116)」

「クリスマス (p.137)」

また、「祭り・記念日 (p.458)」では、法定休日・その他アメリカで人気のある祝祭日について解説がある。

・「CELEBRATE! 米国の祝日」(アクセス 20171125)

<https://americancenterjapan.com/aboutusa/monthly-topics/monthly-topics-category/celebrate/>

(Web サイト / 運営: アメリカンセンターJAPAN)

→各祝日や記念日について、主に以下のような内容を紹介している。

- ・祝日制定までの歴史
- ・過ごし方
- ・主なイベント
- ・シンボル

・『The folklore of American holidays 3rd ed』, Hennig Cohen, Tristram Potter Coffin, Gale Research, 1999

→植民地時代から現在までアメリカの文化を基に、アメリカの休日や祭りに関連する民俗について描く155の休日や記念日について解説。項目ごとに参考文献あり。巻末に以下の索引あり。

「Subject Index」

「Ethic and Geographic Index」

「Collectors, Informants, and Translators Index」

「Song Titles and First Significant Lines Index」

「Motifs and Tale Types Index」

・『アメリカ暮らし入門：外国暮らしのための生活情報』ICS 国際文化教育センター編，大修館書店，1997
→日本人がアメリカで生活する上で必要な生活情報を掲載。「第2章：日米の違い」の「5. 祝祭日・年中行事」(p.22-30)の項目で法定祝日(National Holiday)とその他祝祭日の過ごし方、イベントを紹介している。

3. 参考情報

「legal public holidays (法定休日)」が規定されている United States Code (アメリカ合衆国法令集) は以下の方法で調べることができる。

・「Office of the Law Revision Counsel United States Code」(アクセス 20171204)

<http://uscode.house.gov/browse.xhtml?jsessionid=4E8380023B208968513D9F08324850CE>

(Web サイト / 運営：Office of the Law Revision Counsel)

→アメリカ合衆国の連邦法律のうち一般的・恒久的なものを主題別に集めた法令集である「合衆国法典」の無料データベース。キーワード・目次による検索が可能。全文閲覧のほか、本文の印刷もできる。

・「Westlaw Next」(有料データベース)

→諸外国(特に欧米中心、香港含む)の判例・法令・行政関係資料の総合データベース。アメリカ合衆国法典の民間版である United States Code Annotated の全文を検索・閲覧できる。本文を PDF から印刷可能。

4. キーワード

- ・ 祝祭日--アメリカ合衆国
- ・ legal public holidays
- ・ 記念日
- ・ 祝日
- ・ 法定休日
- ・ 祭日
- ・ 風習
- ・ 年中行事
- ・ 旅行



「ハロウィン」について（担当：近藤・中井・中西）

はじめに

1. 起源の調べ方
2. 日本におけるハロウィンの調べ方
3. 統計データの調べ方
4. 専門機関
5. 役立つ Web サイト
6. 過去のパスファインダー
7. キーワード

はじめに

ハロウィンとは、毎年 10 月 31 日に行われる、ヨーロッパを発祥とする祭りです。

ケルト人の収穫感謝祭がカトリックに取り入れられたとされています。

11 月 1 日の、万聖節の前の晩に祝われます。

そのため、『All-hallow-even』を短縮して、Halloween と呼ばれます。

現在ではカボチャを使い『ジャック・オー・ランタン』をつくったり、魔女やお化けに仮装し、『Trick or treat』と唱えてお菓子をもらうなどの風習があります。

日本では、ここ数年イベントに取り入れる企業などが出てきて、定着し始めました。

ここでは、ハロウィンの「起源」「日本におけるハロウィン」「各種データ」についての調べ方を案内します。

- ・「コトバンク：ハロウィーン はろういーん Halloween」（アクセス 20171122）

<https://kotobank.jp/word/%E3%83%8F%E3%83%AD%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%B3-188648>

（Web サイト / 運営：株式会社朝日新聞社）

1. 起源を調べる

「ハロウィンの起源」について調べるときは、辞典や歳時記などでハロウィン自体の起源を調べるほか、ハロウィンの要素となっている「仮装」や「ジャック・オー・ランタン」「トリック・オアトリート」などの起源について調べていくこともできる。Web 上にも情報があり、活用できる。

・『イギリス祭事・民族辞典』, 澁谷勉訳, 大修館書店, 1992

→ガイフォークスナイト、ハロウィンについて他の祭事と絡めながら説明がある。

・『アメリカ歳時記』, ミッキー・フェルト, ダイヤモンド社, 1987

→ハロウィンの起源、アメリカでのハロウィンの過ごし方について書かれている。

・『ハロウィーンの文化史』, リサ・モートン著; 大久保康子訳, 原書房, 2014

→ハロウィンの起源、世界におけるハロウィンについて書かれている。

・『ケルト：再生の思想：ハロウィンからの生命循環』, 鶴岡真弓, 筑摩書房, 2017

→ハロウィンの起源となった祭りを行っていたケルト人について書かれている。

・『ケルト人：蘇るヨーロッパ「幻の民」』, クリスチアーヌ・エリュエール著; 田辺希久子・湯川史子・松田迪子訳, 創元社, 1994

→ケルト人について書かれている。

・『ケルト：生きている神話』, 森野聡子訳, 創元社, 1993

→ケルト人について書かれている。「サウィン」についても言及あり。

・『ケルト的ケルト考』, 小辻梅子, 思想社, 1998

→「ケルトの四季と妖精の祭り」の中でハロウィンに言及している。

・『メルヘンの植物たち』, 江村一子, 研成社, 2010

→ハロウィンに関連するゲルマン人信仰とその神ホラ、ニワトコの伝承について書かれている。

2. 日本におけるハロウィンを調べる

日本におけるハロウィンについては、辞書・事典類のほか、時事問題ととらえると新聞や雑誌の記事も参考になる。

・『12 か月のきまりごと歳時記 五感でたのしむ季節の事典：現代用語の基礎知識 2008 年版 別冊付録』, 現代用語編集部, 自由国民社, 2008

→「日本で初めてハロウィンパレードが行われたのは1983（昭和58）年、東京の原宿」

・『朝日新聞縮刷版 昭和62年10月』, 朝日新聞社, 1987

1987年10月28日 朝刊19頁 東京 (p.1211)

→「12年前に菓子メーカーモロゾフが販売促進と結び付けたキャンペーンを始めた」

・日本経済新聞 1981年10月12日 朝刊9頁
→「31日の「ハロウィーン」にお菓子パーティーを一菓子業界がキャンペーン。」
全国菓子協会（森永太平会長）が中心になって(中略)ハロウィーンセールなどの催しを行うことになった。

・「モロゾフの歩み」(アクセス 20171207)
http://www.morozoff.co.jp/company_ir/history_1970.html
(Web サイト / 運営: モロゾフ株式会社)
→1976年「ハロウィーン展開の開始」
※同社ページ内での表記は「ハロウィーン」で「ハロウィン」ではないため、長音記号を省くと検索漏れの可能性あり

・「時事ドットコム:「キデイランド原宿店」2017年ハロウィーンのご案内」(アクセス 20171207)
<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000207.000001117&g=prt>
(Web サイト / 運営: 時事通信社)
→日本最初のハロウィンパレードに関する記述あり

・「ラ チッタ デッラ: KAWASAKI Halloween 2017」(アクセス 20171207)
<http://lacittadella.co.jp/halloween/>
(Web サイト / 運営: 株式会社チッタ エンタテインメント)
→ハロウィンパレードなどのイベントを行う KAWASAKI Halloween のホームページ

3. 統計データを調べる

ハロウィンに関する統計データは、調査会社によるアンケート調査や市場調査の資料が Web 上に数多くあり、活用できる。

・『余暇・レジャー&観光総合統計 2018-2019』, 三冬社編集制作部, 三冬社, 2017
→ハロウィンに関する項目はないが、イベントに関する統計がある。

・「ハロウィーンに関する調査 2017」(アクセス 20171207)
<https://research.rakuten.co.jp/report/20171016/>
(Web サイト / 運営: 楽天リサーチ株式会社)

・「ハロウィンに関する意識調査 2014」(アクセス 20171207)
<http://monitor.macromill.com/researchdata/20141016halloween/index.html>
(Web サイト / 運営: 株式会社マクロミル)

- ・「調査のチカラ：「ハロウィン」に関する調査データ一覧」（アクセス 20171207）

<http://chosa.itmedia.co.jp/tags/%E3%83%8F%E3%83%AD%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%B3>

（Web サイト / 運営：アイティメディア株式会社）

→ハロウィンに関するアンケートさまざまなアンケート結果にリンクしている

- ・「なるほど統計学園：今日は何の日？ 10月31日ハロウィン」（アクセス 20171207）

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/c3d1031.htm>

（Web サイト / 運営：総務省統計局）

→「品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング（平成26～28年平均）」

「生鮮野菜」のファイルからカボチャへの支出金額と購入数量

4. 専門機関

図書館に資料がない時は、専門機関にも訪ねるとよい。

- ・「アイルランド政府観光庁」（アクセス 20171207）

<http://www.ireland.com/ja-jp/>

（Web サイト / 運営：アイルランド政府観光庁）

- ・「英国大使館」（アクセス 20171207）

<https://www.gov.uk/world/japan>

（Web サイト / 運営：英国大使館）

5. 役立つ Web サイト

- ・CiNii Articles（アクセス 20171207）

<http://ci.nii.ac.jp/>

（Web サイト / 運営：国立情報学研究所）

→国内の論文を検索することができる。「本文あり」で検索すると、Web 上で全文が読める。「ハロウィン」に関するもので全文読めるものもある。

- ・「ディープライブラリープロジェクト」（アクセス 20171207）

<https://dlib.jp/>

（Web サイト / 運営：ディープ・ライブラリープロジェクト）

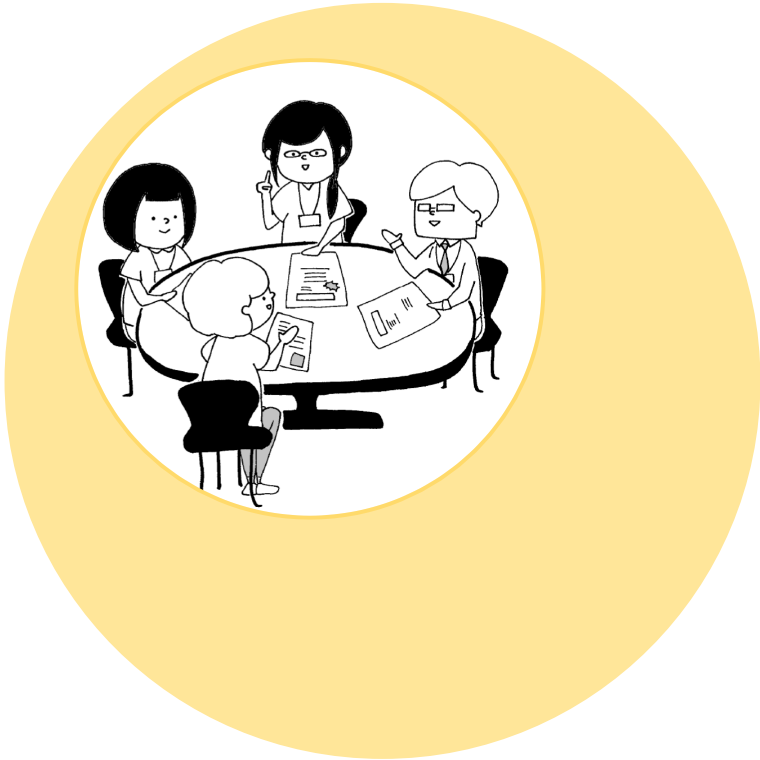
→専門図書館の蔵書を検索することができる。

6. 過去のパスファインダー

- ・「レファレンス協同データベース：「ジャック・オ・ランタン」の作り方について」(アクセス 20171207)
http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000100583
(Web サイト / 運営：国立国会図書館)

7. キーワード

- ・ハロウィン
 - ・ハロウィーン
 - ・Halloween
 - ・サウイン
 - ・サワーン
 - ・ケルト
 - ・ケルト神話
 - ・ドルイド
 - ・年中行事
 - ・祭礼
 - ・収穫祭
 - ・仮装
 - ・ジャック・オ・ランタン
 - ・トリック・オア・トリート
 - ・魔女
 - ・悪魔
 - ・死者
 - ・ガイ・フォークス・ナイト
 - ・風習
 - ・宗教
 - ・民俗学
 - ・ヨーロッパ
 - ・ダッグ・アップル
 - ・諸聖人の日
- など



「東京オリンピック」について（担当：尾崎・小保方・柿沼）

はじめに

1. 東京オリンピック（1964年）の開催期間
2. 東京オリンピック（1964年）の聖火リレーについての調べ方
3. 東京オリンピック（1964年）の参加国を知りたい
4. 東京オリンピック（1964年）の写真がみたい
5. 東京オリンピック（1964年）の記録報告書をみたい
6. 東京オリンピック（1964年）のマラソンコースを知りたい
7. 東京オリンピック（1964年）で日本がとった金メダルの数を知りたい
8. 東京オリンピック（1964年）開催にあたり制定された法律について知りたい。
9. 東京オリンピック（1964年）の記念硬貨について知りたい
10. 1940年（昭和15年）に東京でオリンピックを開催する予定があったと聞いたが
11. 2020年開催の東京オリンピックについて
12. キーワード

はじめに

2020年に東京オリンピックが開催されることが決まり、オリンピックへの関心が高まることが予想されます。そこで「東京オリンピック」についての調べ方をご紹介します。過去のレファレンス事例についてもまとめてあります。

・「Japan Knowledge Lib」（有料データベース）にて“東京オリンピック”で検索。
→第18回オリンピック競技大会。1964年（昭和39）10月10日開会式、同24日閉会式の15日間にわたって行われた。政府は10月10日の開会式を記念して国民の祝日、体育の日を定めた。なお、体育の日は1998年（平成10）「国民の祝日に関する法律」の改正により、連休を作るため10月第2月曜日に変更された。[深川長郎]

1. 東京オリンピック（1964年）の開催期間

1964年（昭和39）10月10日開会式、同24日閉会式の15日間。

・『美と力：1964 Tokyo Olympics』，読売新聞社，読売新聞社，1964

2. 東京オリンピック（1964年）の聖火リレーについての調べ方

1964年東京大会の聖火は、同年8月21日にオリンピアで採火され、アジア地域12カ国を経て9月7日に沖縄へ到着。鹿児島、宮崎、千歳へ空輸され、9月9、10日にスタート、日本全国を4コースに分かれてリレーし、10月7～9日に東京都庁に到着した。都知事室に安置された聖火は10月9日夜、皇居二重橋前で行われた集火式で合火され、翌朝の10月10日開会式当日、国立競技場へリレーし、聖火台に点火された。

・『第18回オリンピック競技大会公式報告書』（上）、オリンピック東京大会組織委員会、オリンピック東京大会組織委員会、1966

・『TOKYO OLYMPIAD 1964』共同通信社、共同通信社、1964

・「東京オリンピック開催へ：vol.1 開会式そして日本中を走った聖火リレー」（アクセス20171207）

http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/story/vol01_02.html

（Webサイト / 運営：日本オリンピック委員会）

→国外・国内ルートの説明あり

3. 東京オリンピック（1964年）の参加国を知りたい

93の国と地域、5,152人が参加した。

・「東京オリンピック1964：大会概要」（アクセス20171207）

http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/

（Webサイト / 運営：日本オリンピック委員会）

4. 東京オリンピック（1964年）の写真がみたい

・『地図と写真で見る東京オリンピック1964』ブルーガイド編集部編、実業之日本社、2015

・「福岡大学図書館オリンピック関係図書コレクション：夏季第18回東京大会に関する資料」（アクセス20171207）

http://www.lib.fukuoka-u.ac.jp/e-library/tenji/Olympic2004/k_kaisaichi/kaki_18.html

（Webサイト / 運営：福岡大学図書館）

→東京オリンピックに関する和図書・洋図書・和AV資料がまとめられている。

そのほか、Web 上にも多数公開されている。

- ・「1964 年 東京オリンピック特集」(アクセス 20171207)

<http://www.aflo.com/editorial/tokyo1964/>

(Web サイト / 運営 : アフロ)

- ・「1964 年東京オリンピック 画像と写真」(アクセス 20171207)

<http://www.gettyimages.co.jp/%E5%86%99%E7%9C%9F/1964%E5%B9%B4%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF?excludenudity=true&sort=mostpopular&mediatype=photography&phrase=1964%E5%B9%B4%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF&family=editorial>

(Web サイト / 運営 : ゲッティイメージズ)

- ・「夏季オリンピックアーカイブ : 東京オリンピック 1964 年」(アクセス 20171207)

https://amanaimages.com/editorial/select/hischronologyj_010_1964/

(Web サイト / 運営 : アマナイメージズ)

- ・「東京五輪 50 年 : 99 枚の写真で見る「あの日、あの瞬間」」(アクセス 20171207)

<http://mainichi.jp/graph/2014/10/09/20141009mog00m050011000c/001.html>

(Web サイト / 運営 : 毎日新聞社)

5. 東京オリンピック (1964 年) の記録報告書をみたい

- ・『第 18 回オリンピック競技大会東京都報告書』, 東京都, 東京都, 1965

- ・「日本代表選手団 記録検索」

<http://www.joc.or.jp/games/olympic/record/> (アクセス 20171207)

(Web サイト / 運営 : 日本オリンピック委員会)

→歴代オリンピック日本代表選手団の全記録が検索可能

6. 東京オリンピック (1964 年) のマラソンコースを知りたい

- ・『オリンピック準備局事業概要』, 東京都オリンピック準備局, 東京都オリンピック準備局, 1962

→p. 101 に第 6 回マラソンコース図あり。

7. 東京オリンピック（1964 年）で日本がとった金メダルを知りたい

メダル争いは、金メダルはアメリカが 36 を獲得してソ連の 30 を押さえ、日本は 16 個を得て 3 位に入った。ほかに東西ドイツは統一チームを組み 10、イタリア、ハンガリーも 10、ポーランド 7、オーストラリア 6、チェコスロバキア 5、イギリス 4 と続いた。

なお、日本が獲得した総メダル数は、金メダル 16、銀メダル 5、銅メダル 8。

・『美と力：1964 Tokyo Olympics』, 読売新聞社, 読売新聞社, 1964

・「大会別日本代表選手 入賞者一覧：1964 年東京大会」（アクセス 20171207）

<http://www.joc.or.jp/games/olympic/winnerslist/summer/018.html>

（Web サイト / 運営：日本オリンピック委員会）

8. 東京オリンピック（1964 年）開催にあたり制定された法律について知りたい

昭和 34 年（1959）5 月の国際オリンピック委員会（IOC）総会において、第 18 回オリンピック大会を東京で開催することが決定し、日本は国を挙げて開催準備に取り組むこととなりました。昭和 36 年（1961）6 月には「オリンピック東京大会の準備等のために必要な特別措置に関する法律」が公布され、オリンピックの準備・運営経費の一部国庫補助や国有財産の無償使用、寄付金付郵便はがきの発行、日本専売公社等による援助などが定められました。

・「公文書にみる日本のあゆみ：オリンピック東京大会の準備等のために必要な特別措置に関する法律・御署名原本・昭和三十六年・第五卷・法律第一三八号」（アクセス 20171207）

http://www.archives.go.jp/ayumi/kobetsu/s39_1964_04.html

（Web サイト / 運営：国立公文書館）

9. 東京オリンピック（1964 年）の記念硬貨について知りたい

オリンピック東京大会を記念して、わが国最初の記念貨幣が発行された。まず発行が決定したのは 100 円銀貨幣で、図案は公募され、30,512 点の中から、聖火台と五輪マークをデザインしたものが一席に入選し採用された。図柄は表に聖火台と五輪のマーク、裏は太陽と 100 の数字を重ねたものである。続いて高額面、大型の記念貨幣を発行することとなり、1000 円銀貨幣の発行が決定された。図案は造幣局が制作、表に富士と桜花、裏に五輪マークと桜花となった。（中略）このわが国初の記念貨幣は国民から非

常な好評をもって迎えられた。(下記資料 p.124 より)

- ・「造幣局のあゆみ」, 造幣局のあゆみ編集委員会, 独立行政法人造幣局, 2010, 改訂版(アクセス 20171207)
<http://www.mint.go.jp/wp-content/uploads/2016/07/ayumi.pdf>
(Web サイト / 運営 : 独立行政法人造幣局)

10. 1940 年 (昭和 15 年) に東京でオリンピックを開催する予定があったと聞いたが

1931 年 (昭和 6 年) 10 月、東京市議会は皇紀 2600 年に当たる 1940 年のオリンピックを東京に招致したいと満場一致で決議し、1936 年 (昭和 11 年) 7 月 31 日、ベルリンで開催された IOC 会議において対立候補であったヘルシンキを破り、第 12 回オリンピックの東京開催が決定した。

しかし、1937 年 (昭和 12 年) 7 月の盧溝橋事件勃発以降、日本に対する国際的な批判の高まりを背景として、東京でのオリンピック開催に反対する動きが各国で強まったことと、国内からも、現在は物心両面で国の総力を挙げて戦局に対処すべきであるとして、1938 年 (昭和 13 年) 7 月 15 日、日本政府は東京での開催を取り止めるのが適当であると大会組織委員会に通達、翌 16 日に大会組織委員会は東京大会開催返上を決定した。

- ・「国際「オリムピック」競技大会一件 第三卷 10. 「オリンピック」東京大会取止ニ関スル件」(アクセス 20171207)
https://www.jacar.archives.go.jp/das/meta/image_B04012504200?IS_STYLE=default&IS_KIND=detail&IS_TAG_S1=InD&IS_KEY_S1=B04012504200&
(Web サイト / 運営 : アジア歴史資料センター)

- ・『幻の東京オリンピック：1940 年大会 招致から返上まで』, 橋本一夫, 講談社, 2014

- ・『幻の東京五輪・万博 1940』, 夫馬信一, 原書房, 2016

- ・『オリンピック・シティ東京：1940・1964』, 片木篤, 河出書房新社, 2010

11. 2020 年開催の東京オリンピックについて

- ・「Japan Knowledge Lib」(有料データベース)にて“東京オリンピック (2020 年夏季オリンピック)”で検索
→2013 年 9 月 7 日の国際オリンピック委員会 (IOC) 総会で開催地に決定。IOC 委員の投票でイスタンブール (トルコ)、マドリード (スペイン) に大差をつけた。日本は、1988 年夏季大会 (ソウル) で名

古屋、2008年夏季大会（北京）で大阪、16年夏季大会（リオデジャネイロ）で東京と3連敗だったオリンピックの招致レースで雪辱を果たした。東京での開催は1964年以来56年ぶりで、2度目の開催はアジアで初めてになる。会期は7月24日から8月9日までの17日間。（中略）東日本大震災からの「復興五輪」を掲げ、聖火リレーは被災地を巡る予定。オリンピックとパラリンピックの開催準備が同じ組織で進められ、2014年1月に2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が発足、森喜朗元首相が会長に就任した。パラリンピックの会期は8月25日から9月6日までの13日間。[原田寛]

・『スポーツ白書 2017: スポーツによるソーシャルイノベーション』, 笹川スポーツ財団, 笹川スポーツ財団, 2017

・「2020年大会準備: 大会開催概要」(アクセス 20171207)

<http://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaiyunbi/taikai/gaiyou/index.html>

(Web サイト / 運営: 東京都オリンピック・パラリンピック準備局)

→開催期間・競技数が確認できる。

・「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」(アクセス 20171207)

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/

(Web サイト / 運営: 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局)

→関係会議・法令に関する資料が確認できる。

12. キーワード

- ・オリンピック
- ・東京オリンピック
- ・五輪
- ・東京大会
- ・1964年
- ・1940年
- ・2020年
- ・聖火リレー
- ・オリンピックメダル
- ・オリンピック記念硬貨
- ・五輪参加国

「宮沢賢治」について（担当：名取・西・松尾）

はじめに

1. 人物について
2. 作品について
3. 研究について
4. 参考資料
5. キーワード

はじめに

「宮沢賢治」は、日本文学を代表する大正・昭和時代前期の詩人・童話作家であり、『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』など、学校の教科書にも掲載され、私たちになじみの深い作品が多いです。

明治29年（1896年）岩手県花巻の地に生まれた賢治は、農耕自炊生活を営み自然への造詣が深いことでも知られています。独特な宇宙的感觉を持ち、特異性や賢治の描くスケールと世界観は人々の心を大きく動かすものがあります。38年の生涯で幕を閉じた後、実弟の清六、詩人の草野心平などの尽力により、急速に世に知られるようになりました。

ここでは、「宮沢賢治」についての調べ方を「人物」「作品」「研究」に項目を分けて紹介します。

1. 人物について

● 図書から調べる

< 事典 >

（全般）

・『日本児童文学大事典』（第1巻-第3巻）、大阪国際児童文学館編、大日本図書、1993

→ 児童文学全般に関する事典。

（宮沢賢治に特化した事典）

・『宮沢賢治大事典』、渡部芳紀編、勉誠出版、2007

→ 詩、童話などの作品をはじめ、関連人物、音楽、宗教、星座など、関連する700以上の項目があり基礎理解・総合研究に適している。「第一部 作品篇」と「第二部 一般項目篇」に分かれており、86名の研究者が分担執筆。

・『宮沢賢治イーハトヴ学事典』、天沢退二郎・金子務・鈴木貞美編、弘文堂、2010

→ 事項索引、人名・著作索引、賢治作品・著作索引の3索引から検索が可能。150名もの研究者による、賢治世界の隅々まで至る詳しい解説。

・『新宮澤賢治語彙辞典』，原子朗，東京書籍，1999

→賢治の作品等に出てくる 5000 項目もの「ことば」を辞書的に説明。作品語彙だけでなく、解説文中語彙も収録。作品のジャンルを略語として明記。

<評伝>

・『評伝宮沢賢治』境忠一，桜楓社，1968

・『年譜宮沢賢治伝』堀尾青史，中央公論社，1991

・『宮沢賢治年譜』堀尾青史編，筑摩書房，1991

●関係する語句や人物について調べる

・『宮沢賢治ハンドブック』，天沢退二郎編，新書館，1996

→賢治研究上、重要な語句・人物・場所の論考集

●子ども向けの図書を調べる

・『総合百科事典 ポプラディア』，加古里子・秋山仁，ポプラ社，2011，新訂版

・『教科書にでる人物学習事典』，学習研究社，1998，増補新版

→小・中学校の教科書に登場する約三八〇〇人を五十音順に配列し，各人の生き方を事件や作品解説などもりこんでわかりやすく解説。

・『宮沢賢治：銀河を旅したイーハトーブの童話詩人（小学館版学習まんが人物館）』，村野守美まんが，西原和海シナリオ，小学館，1996

→政治家、武将、科学者、まんが家など、知っておきたい日本と世界の人物をまんがと解説で紹介。貴重な資料をもとに、綿密な時代考証で裏うちし、それぞれの輝かしい生涯をシナリオライターとまんが家の共同作業で忠実に再現。

2. 作品について

●図書から調べる

<事典>

（日本文学に関する事典）

・『現代文学鑑賞辞典』，栗坪良樹編，東京堂出版，2002

→明治・大正・昭和・平成の四代にわたる近現代日本文学作品を 390 編選び、その「あらすじ」「読みどころ」を付与。

・『日本の作家：伝記と作品』，日外アソシエーツ株式会社編，日外アソシエーツ，2002，新訂版
→古代から現代までの著名な作家 361 人について解説、著作や研究図書等の参考図書のリストを付与。

・『現代日本文学総覧シリーズ』，日外アソシエーツ株式会社編，日外アソシエーツ，1985-2016
→全集の出版された年代で第 1 期から第 6 期に分かれている。第 1 期、第 2 期は、全集と個人全集に分かれている。内容、作家名、作品名で調べることが可能。

<全集>

・『【新】校本宮澤賢治全集』全 16 巻・別巻 1 (全 19 冊)，宮沢賢治，筑摩書房，1995-2009
→メモ、手帳、書簡を含む全作品を収録。第 1 巻に短歌、第 2～7 巻に詩、第 8～12 巻に童話、第 13～14 巻にメモ・手帳その他雑纂、第 15 巻に書簡、第 16 巻に補遺・年譜・各種資料を収め、別巻に索引。変化・解体・転生を特徴とする賢治作品の、多くの初期形や先駆形を「本文」として掲出し、推敲異文のすべてを「校異」に記録。

・『宮沢賢治コレクション』全 10 巻，宮沢賢治，筑摩書房，2016
→文語詩・短歌以外は「常用漢字体・現代仮名遣い」を使用し、ルビ等読みやすさに配慮した構成。第 1 巻～第 5 巻は、童話作品を中心に、劇・短篇その他を収録。第 6 巻～第 10 巻は、詩集『春と修羅』を中心に、口語詩・文語詩・短歌等も収録。

●Web から調べる

・「青空文庫」(アクセス 20171207)

<http://www.aozora.gr.jp/index.html>

(Web サイト / 運営：「青空文庫」ボランティア)

→著作権の保護期間を過ぎた文学作品をインターネット上で公開。本文全てを読めることはもちろん、テキストデータとして掲載しているので全文検索が可能。

・「国立国会図書館デジタルコレクション」(アクセス 20171207)

<http://dl.ndl.go.jp>

(Web サイト / 運営：国立国会図書館)

→国立国会図書館がデジタル化した所蔵資料と収集したデジタル資料を検索・閲覧・視聴できるシステム。300 万点以上 (電子書籍・電子雑誌を含む) を収録。

●作品の読み方を調べる

・『近代文学難読作品名辞典』，日外アソシエーツ株式会社編，日外アソシエーツ，1998

→漢字の総画数で調べることが可能。

・『日本文学作品名よみかた辞典』，日外アソシエーツ株式会社編，日外アソシエーツ，1988

→漢字の音訓順で調べることが可能。

・『宮澤賢治語彙辞典』, 原子朗, 筑摩書房, 1999

→賢治作品に使われている難読語・造語等

・『賢治童話ビジュアル事典』, 中地文監修, 岩崎書店, 2016

→現代の子どもには身近ではない宮沢賢治の童話に登場するものについて、豊富な写真やイラストで紹介する事典。

3. 研究について

●論文を Web から調べる

・「CiNii Articles」(アクセス 20171207)

<http://ci.nii.ac.jp>

・「CiNii Dissertations」(アクセス 20171207) ※博士論文の場合

<http://ci.nii.ac.jp/d/>

(Web サイト / 運営: 国立情報学研究所)

→国立情報学研究所 (NII) が提供する論文情報ナビゲーター。機関リポジトリ、国立国会図書館デジタルコレクションなどリンク先が表示。全文閲覧可能な文献もある。

「宮沢賢治 or 宮澤賢治」で検索。

●関連した刊行物等を読む

・「宮沢賢治学会イーハトーブセンター／宮沢賢治イーハトーブ館」(アクセス 20171207)

<http://www.kenji.gr.jp>

(Web サイト / 運営: 宮沢賢治学会イーハトーブセンター／宮沢賢治イーハトーブ館)

→機関紙「宮沢賢治研究 Annual」各号に掲載の論文細目および、ビブリオグラフィーのデータ (Excel) について公開。

・「宮沢賢治研究会」(アクセス 20171207)

<http://kenji-society-1.sakura.ne.jp/201101/0119/>

(Web サイト / 運営: 宮沢賢治研究会)

→機関紙「賢治研究」各号の目次 (一部) を公開。

・「宮沢賢治センター」(アクセス 20171207)

<http://kenji.cg.cis.iwate-u.ac.jp>

(Web サイト / 運営: 岩手大学三陸復興・地域創生推進機構 地域連携・COC 推進課)

→機関紙「センター通信」各号の PDF 及び『賢治学』各号の目次を公開。

・「宮沢賢治記念会」(アクセス 20171207)

<http://www.miyazawa-kenji.com>

(Web サイト / 運営: 宮沢賢治記念会)

→出版物を紹介。

「宮沢賢治記念館」(アクセス 20171207)

<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/miyazawakenji/p004116.html>

(Web サイト / 運営: 花巻市)

→直近の「宮沢賢治記念館通信」を PDF で公開

●研究をまとめた図書から調べる

<事典>

・『日本人物文献目録』, 法政大学文学部史学研究室編, 平凡社, 1974

→宮沢賢治に関する資料の目録 (有料データベース Japan Knowledge Lib でも検索可)

<図書>

・『宮澤賢治研究資料集成』全 21 巻・別冊 1・2, 族橋達雄編, 日本図書センター, 1990-1992

→作品 (1896-1933)、研究論文、評論、随想、座談会・書評などを収録。

・『図説宮澤賢治 (ちくま学芸文庫)』, 天沢退二郎・栗原敦・杉浦静編, 筑摩書房, 2011

→写真、原稿などとともに生涯を記述したもの。

・『宮沢賢治研究資料探索』, 奥田弘, 蒼丘書林, 2001

→研究周辺資料を詳細にまとめたもの。

・『宮沢賢治研究ノート: 受苦と祈り』, 山内修, 河出書房, 1991

・『宮沢賢治研究叢書』1-8 巻, 学芸書林, 1975-1976 ※のちに新装版も刊行している。

・『宮沢賢治研究』, 草野心平編, 筑摩書房, 1981

・『宮沢賢治研究 (近代作家研究叢書; 43)』, 古谷鋼武, 日本図書センター, 1984, 復刻版

・『宮沢賢治覚書 (近代作家研究叢書; 9)』, 草野心平, 日本図書センター, 1985

・『検証・宮沢賢治論』, 山下聖美, D 文学研究会, 1999

→宮沢賢治文献についての書評をまとめたもの。

- ・『宮澤賢治の「序」を読む』, 浅沼圭司, 水声社, 2016
- ・『宮沢賢治「力」の構造』, 安藤恭子, 朝文社, 1996
- ・『賢治学』, 岩手大学宮澤賢治センター編, 東海大学出版部, 2014-
- ・『データベース宮沢賢治の世界：魅せられし人々の軌跡』, 中西敏夫編, 出版文化研究会, 1999
→研究書の五十音の一覧、目次、観光年代順一覧、執筆者の一覧

4. 参考資料

- ・「Japam Knowkedge Lib」(有料データベース)
- ・「日本図書センター」(アクセス 20171207)
<http://www.nihontosho.co.jp/index.html>
(Web サイト / 運営：日本図書センター)

5. キーワード

- ・宮沢賢治
- ・宮澤賢治
- ・岩手県
- ・イーハトーブ
- ・イーハトヴ
- ・注文の多い料理店
- ・銀河鉄道の夜
- ・風の又三郎
- ・永訣の朝
- ・雨ニモマケズ
- ・春と修羅
- ・詩人
- ・童話作家
- ・花巻市

社会人になる前に！「ワークライフバランス」について（担当：武藤・山中・吉田）

はじめに

1. ブックリスト
2. Web上の情報
3. レフェラルサービス
4. キーワード

はじめに

仕事とプライベートをバランス良く充実させることが、仕事への意欲的な取組や高い生産性、社会の持続的成長には不可欠とされています。

就職活動をする前にワークライフバランスについて学び、自分は将来どのような生活を送りたいのか考えたうえで、臨めるようにしていきましょう。

「ワークライフバランスとは」

国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択実現できると定義（内閣府 2007）

1. ブックリスト

●ワークライフバランスについて調べる

- ・『ワークライフバランスと労働時間』，産労総合研究所編，産労総合研究所出版部経営書院，2006
- ・『ワークライフバランス：今日から変わる入門講座』，坂東眞理子・辰巳渚編著，朝日新聞出版，2008
- ・『ワークライフバランス：考え方と導入法=Work-life balance』，小室淑恵，日本能率協会マネジメントセンター，2010
- ・『職場のワーク・ライフ・バランス』，佐藤博樹・武石恵美子，日本経済新聞出版社，2010
- ・「ワーク・ライフ・バランス実践プログラム」，東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課，2013（アクセス 20171207）

<http://www.tokyo-wlb.jp/jissen/program.html>

（Web サイト / 運営：東京都）

・『ワーク・ライフ・バランスのすすめ』, 村上文, 法律文化社, 2014

●過重労働について調べる

・『精神疾患・過労死』, 佐久間大輔, 中央経済社, 2015, 第2版

・『過労死等防止対策白書』, 厚生労働省編集, 正陽文庫, 2016

・『電通事件：なぜ死ぬまで働かなければならないのか』, 北健一, 旬報社, 2017

・「Posse NO.34 <特集>ポスト電通事件の過労死対策」, 堀之内出版, 2017.3月号

・「経済 NO.259 <特集>過労自殺&ブラック企業 あなたの職場は大丈夫?」, 新日本出版社[編], 2017.4月号

●ホワイト企業・ブラック企業について調べる

・『ブラック企業のない社会へ：教育・福祉・医療・企業にできること』, 今野晴貴[ほか], 岩波書店, 2014

・『本当のホワイト企業の見つけ方：指標とランキングでわかる!』, 東洋経済 CSR プロジェクトチーム・岸本吉浩, 東洋経済新報社, 2014

・『超ホワイト企業の源流：未来工業・山田昭男の素顔』, 翠幸一郎編著, かもがわ出版, 2015

・『採用情報で見極めよ! 「ホワイト企業」の選び方』, 池内恵介, 同文館出版, 2015

・『健康・安全で働き甲斐のある職場をつくる：日本学術会議の提言を実効あるものに』, 岸-金堂玲子・森岡孝二編著, ミネルヴァ書房, 2016

・『仕事と就活の教養講座：生きのびるための働き方』, 細谷実編著, 白澤社, 2016

・「CSR 企業総覧 2018 年版：雇用・人材活用編 / ESG 編（東洋経済臨時増刊）」, 東洋経済新報社, 2017

●自己管理のヒントを得る

・『できる社員の健康管理術：産業医が教える、生産性を高める暮らし方・働き方』, 亀田高志, 東洋経済新報社, 2011

・『ダメ出しの力：職場から友人・知人、夫婦関係まで（中公新書；2258）』, 繁樹江里, 中央公論新社, 2014

・『明日に疲れを持ち越さないプロフェッショナルの仕事術：Self-management』, 渡部卓, クロスメディア・パブリッシング, インプレス (発売), 2016

・『働く女性のストレスとメンタルヘルスケア』, 丸山総一郎編, 創元社, 2017

2. Web 上の情報

●ワークライフバランスを知る

・「仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現に向けて: サイトマップ」(アクセス 20171207)

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/sitemap.html>

(Web サイト / 運営: 内閣府)

→地域別、企業の取組などの報告書や事例集が掲載されている

●産業別労働状況等を調べる

・「統計情報・白書」(アクセス 20171207)

http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/

(Web サイト / 運営: 厚生労働省)

●会社 HP でワークライフバランスの取組みを調べる (CSR 情報に掲載)

●求人情報サイトでワークライフバランス推進情報を収集する

●図書館で使える有料データベース (DB) で検索する

例) ワークライフバランスについてどのような報道がされているか

→「朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル」で検索

おすすめ DB: 「朝日新聞記事データベース聞蔵Ⅱビジュアル」

「東洋経済デジタルコンテンツライブラリー」

「日経 BP 記事検索サービス」

「読売新聞データベース「ヨミダス歴史館」」

3. レフェラルサービス

・労働図書館

〒177-0044 東京都練馬区上石神井 4-8-23 TEL:03-5991-5032

<http://www.jil.go.jp/lib/index.html> (アクセス 20171207)

- ・厚生労働省図書館
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎第5号館 19階 TEL:03-5253-1111
<http://library.mhlw.go.jp/> (アクセス 20171207)
- ・東京都労働資料センター
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-10-3 東京しごとセンター9階 TEL:03-5215-5857
<http://hataraku.metro.tokyo.jp/sosiki/siryo/index.html> (アクセス 20171207)
- ・法政大学大原社会問題研究所 閲覧室
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 TEL:042-783-2305
<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/> (アクセス 20171207)
- ・女性就業支援センター資料室
〒108-0014 東京都港区芝 5-35-3 4階
<http://joseishugyo.mhlw.go.jp/joho/shiryoushitsu.html> (アクセス 20171207)

●会社訪問（説明会、座談会、OB訪問）でワークライフバランスの情報を収集する

※人によって必要とする制度は様々です。「福利厚生はどうですか？」など大雑把な質問は避け、将来をイメージした中で、自分の生活においてどんな制度があることが望ましいかを考え、具体的な質問をしましょう。

困ったときはまずは自分が所属する大学の就職支援センターへ！！

4. キーワード

- ・ワークライフバランス
- ・労働環境
- ・ホワイト企業
- ・ブラック企業
- ・大学生の就職
- ・共働き
- ・フレックス
- ・テレワーク
- ・育児休暇
- ・有給休暇
- ・住宅補助

- ・両立支援
- ・均等
- ・働き方
- ・子育て
- ・介護
- ・就職活動
- ・労働衛生
- ・くるみん

私立大学図書館協会東地区部会 第9期研修分科会メンバー（五十音順）

青山 愛（あおやま めぐみ）大正大学 図書館
畔上 幸子（あぜがみ さちこ）文教大学 湘南図書館
五十畑 志保実（いそはた しほみ）文教大学 越谷図書館
尾崎 陽二（おぎき ようじ）明治学院大学 図書館
小保方 慎治（おぼかた しんじ）駒澤大学 図書館
柿沼 直子（かきぬま なおこ）法政大学 図書館
近藤 倫史（こんどう ともふみ）城西大学 水田記念図書館
滝沢 麻衣（たきざわ まい）早稲田大学 図書館
中井 七々恵（なかい ななえ）横浜商科大学 図書館
中西 悠（なかにし ゆう）松本大学 図書館
名取 千沙（なとり ちさ）共立女子大学 図書館
西 満美（にし まみ）中央大学 図書館
松尾 蘭（まつお らん）立正大学 図書館
武藤 郁子（むとう あやこ）青山学院大学 図書館
山中 浩子（やまなか ひろこ）日本体育大学 図書館

新井 和之（あらい かずゆき）成城大学 図書館／研修分科会幹事校
吉田 博貴（よしだ ひろき）成城大学 図書館／研修分科会幹事校

高野 真理子（たかの まりこ）NPO 法人 大学図書館支援機構（IAAL）
高橋 晶子（たかはし あきこ）NPO 法人 大学図書館支援機構（IAAL）

図書館 de 宝探し～知への羅針盤～

2017年12月12日 発行

編集・発行：私立大学図書館協会東地区部会 第9期研修分科会

イラスト：松尾 蘭（立正大学 図書館）

